

令和4年度

事業報告書

令和4年度 高崎市社会福祉協議会事業報告

今日の社会福祉を取り巻く環境は、急速な少子高齢化や本格的な人口減少社会の到来により社会構造が大きく変化する中、地域社会のつながりや地域に対する関心の希薄化が進み、児童や高齢者、障がい者等の虐待、社会的孤立や自殺、ニートやひきこもりの長期・高齢化、ヤングケアラーなどの子どもの貧困問題など、顕在化しにくい福祉課題や生活課題も継続して発生しています。また、地域における福祉活動は、地域社会の相互扶助機能のさらなる強化、さらには地域の特性や生活・福祉課題に応じた「地域共生社会」の構築に向けた取組みが引き続き推進されており、住民主体による小地域福祉活動や第2層協議体による活動は、ますます重要性を増しています。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更在先立ち、これまでの制限や制約が緩和され、個人や事業主の判断に委ねられることが徐々に増え、人々の意識も変化していく中、本会においても地域福祉の総合的な推進役としての役割や使命を踏まえ、多様な関係機関・団体等との連携のもと実施可能な事項を中心に、感染予防対策に取り組みつつ事業を展開しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度から実施してきた生活福祉資金貸付制度に基づく緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付は、9月末をもって終了しました。期間中、12,000件以上の相談があり、群馬県社会福祉協議会へ申請を行いました。そのような中、生活困窮者自立支援機関と連携や生活支援に関する取組みを継続して実施するとともに、フードドライブ事業についても積極的に実施し、ご賛同いただく企業・学校等を増やすことができました。

昨年度より高崎市から委託を受け始まった女性元気サポート事業においては、コロナ禍の中で、生活や仕事、子育て、介護、DV被害などの悩みや不安を抱える女性を支援するため、関係団体と協働し、相談事業の実施や居場所の提供等を行いました。

また、高崎市と「高崎市災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」を締結し、有事における具体的な準備を進めています。

在宅福祉事業関連では、コロナ禍の中においても訪問介護サービスや子育てSOSサービス、通所介護サービスなど、支援を必要とする方々に対して絶え間ないサービスを提供し続けてきました。一方で、居宅介護支援センターの拠点機能集約を目的として、2つの事業所を1つに統合しました。

以上により、本会の令和4年度の事業は、社会情勢や市民のニーズに対応しつつ、一層の充実を図るとともに、法人運営の透明化及び組織の強化を推進し、経営全般の健全化に努めました。

1 法人の運営

(1) 理事会・評議員会等開催状況

会議名	年月日	会場	議題
第1回 理事会	4年4月1日	書面審議	議案 第1号 常務理事の選定について
監事会	4年5月17日	会議室4	令和3年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告 並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算監査
第2回 理事会	4年6月7日	会議室4	報告 第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 第2号 専決処分の報告について 議案 第2号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会経理規程 の一部改正について 第3号 令和3年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 事業報告及び決算 第4号 令和4年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 収支補正予算（第2号） 第5号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部 変更について 第6号 理事候補者の選考について 第7号 評議員選任候補者の推薦について 第8号 評議員選任・解任委員会の開催について 第9号 定時評議員会の開催について
第1回 評議員選任・ 解任委員会	4年6月9日	ボランティア 作業室	議案 第1号 評議員の選任について
定時評議員会	4年6月24日	たまご ホール	報告 第1号 専決処分の報告について 議案 第1号 令和3年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 事業報告及び決算 第2号 令和4年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 収支補正予算（第2号） 第3号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部 変更について 第4号 理事の選任について
第3回 理事会	5年3月16日	会議室4	報告 第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 第4号 専決処分の報告について 議案 第10号 令和4年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 収支補正予算（第6号） 第11号 令和5年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 事業計画及び収支予算 第12号 評議員選任・解任委員の選任について 第13号 苦情対応第三者委員の選考について 第14号 令和5年度役員等賠償責任保険の契約の締結 について 第15号 評議員会の開催について

会議名	年月日	会場	議 題
第2回 評議員会	5年3月24日	たまご ホール	報告 第2号 専決処分の報告について 議案 第5号 令和4年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 収支補正予算（第6号） 第6号 令和5年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会 事業計画及び収支予算 第7号 苦情対応第三者委員の承認について 第8号 監事の選任について

(2) 法人の基盤強化

ア 弁護士による助言・指導

法律的な係争や問題等に対して、弁護士による助言・指導を受け、適切かつ迅速に問題解決が図れるよう努めた。

イ 税理士による助言・指導

法人運営の透明性を高めるため税理士による助言・指導を受け、適正な会計処理に努めた。

ウ 社会保険労務士による助言・指導

職員が健康で安心して働くことが出来るよう人事・労務管理の専門家の社会保険労務士から労務管理上の助言・指導を受け、職場のトラブルの未然防止に努めた。

(3) 職員の人材育成

職責や職務内容に応じた外部研修（オンライン形式含む）に計画的に参加させたほか、内部の現場研修を実施し、職員の資質向上とやりがいのある職場づくりに努めた。

(4) 職員の出向

本会より高崎市福祉部社会福祉課へ4名、高崎市障害者支援SOSセンター（ばる～ん高崎）へ職員2名が出向し、担当業務にあたった。

2 社会福祉事業

(1) 会員体制（会費収入）

本会の目的に賛同する個人、団体及び施設等から納入された会費は、ふれあいサロンや地区社協への助成や法外援護等へ支出し地域福祉の向上のため、有効に活用した。

ア 一般会費

	町内会数	3年度		4年度	
		世帯数	会費収入	世帯数	会費収入
本所	342	115,921世帯	12,389,706円	116,170世帯	12,346,922円
倉渕	8	1,241世帯	237,400円	1,223世帯	231,400円
箕郷	41	7,498世帯	1,241,200円	7,559世帯	1,249,200円
群馬	30	17,537世帯	2,382,000円	17,707世帯	2,388,200円
新町	10	4,893世帯	920,800円	4,900世帯	920,200円
榛名	62	6,927世帯	1,244,200円	6,801世帯	1,242,600円
吉井	36	8,913世帯	1,384,800円	8,855世帯	1,406,850円
合計	529	162,930世帯	19,800,106円	163,215世帯	19,785,372円

イ 特別・施設会費、団体会費

区 分	会費収入	備 考
特別会費	725,720円	・保護司会 ・長寿会連合会 ・更生保護女性会 ・心身障害者等連絡協議会 ・ボランティアグループ連絡協議会 ・民生委員児童委員協議会 ・婦人会連合会 ・各民生委員児童委員
施設会費	397,000円	・保育園65園・社会福祉施設33カ所
団体会費	215,000円	・地区社会福祉協議会33地区
合 計	1,337,720円	

(2) 金品の寄附

寄せられた寄附金は、その意思を尊重し各種事業に活用するとともに福祉基金に積立を行った。また、寄附物品は施設や団体等に配布し有効に活用した。

ア 一般寄附（現金）

区 分	寄附金額	寄附件数
善 意 銀 行	5,250,216円	41件
ふれあいの広場	200,000円	12件
児 童 館	120,000円	4件
合 計	5,570,216円	57件

イ 指定寄附（現金）

区 分	3年度末 残 高	4年度 金額	4年度 件数	4年度支出 金額(件数)	4年度末 残 高	備 考
障害者	84,293,924円	107,666円	1件	△1,480,028円	85,881,618円	令和3年度 障害者共 同生活援 助事業運 営資金へ の繰出残 金を戻入
高齢者	1,770,496円	3,000円	1件	0円	1,773,496円	
児 童	387,919円	50,000円	1件	50,000円 (3件)	387,919円	児童福祉 活動団体 へ配布
その他	78,606円	0円	0件	0円	78,606円	
合 計	86,530,945円	160,666円	3件	△1,430,028円 (3件)	88,121,639円	
利 息		1,711円			1,711円	障害者区 分へ繰入

ウ 物品の受入れ

物 品	数 量	備 考
タオル	3,023枚	
その他	—	車いす、ポータブルトイレ、紙オムツ、本、布地、反物、手ぬぐい、布巾、文房具、手作り脳トレおもちゃ、寝具、洗剤、手編みセーター、糸、フローアーマット

(3) 共同募金配分金事業

共同募金推進計画に基づき、群馬県共同募金会高崎市支会を通じて本会に配分された配分金を地域福祉の充実に目的とした事業に活用した。

ア 共同募金配分金

社協配分金額	配分金内訳	摘 要
12,368,000円	7,155,892円	ふれあいサロン助成金
	5,212,108円	社協広報発行費用 (3回分)

イ 歳末たすけあい募金配分金

配分金額	摘 要
657,480円	生活困窮者支援団体助成 フードドライブ事業

(4) 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会は、地域住民が自分たちの生活する地域の福祉課題やニーズを主体的に捉え問題解決に向け自発的に取り組む組織で、区長、民生委員児童委員、ボランティア等が中心になってさまざまな活動を通じて、市内33全地区で地域福祉づくりを進めている。

新型コロナウイルスの影響により予定した事業が実施できないなどの影響もあったが、感染に配慮した上でできる活動を地区ごとに実施した。

主な活動実績

活動区分	主な内容
研修会等	サロン情報交換会など
見守り活動	友愛訪問、一声かけ運動、ひとり暮らし高齢者友愛事業、防犯パトロールなど
その他の活動	高齢者に寄せたメッセージ冊子の作成、地区社協だより発行など

(5) 高齢者や子育てサロン活動への支援

高齢者のふれあい・いきいきサロンや、ふれあい・子育てサロンを新規で立ち上げるための相談や情報の提供、活動メニューに対する相談支援、活動費に対する助成などの支援を行った。

ア ふれあい・いきいきサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
3年度	356カ所	14,927,500円	42,000円×355カ所、17,500円×1カ所
4年度	344カ所	14,430,500円	42,000円×343カ所、24,500円×1カ所

イ ふれあい・子育てサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
3年度	27カ所	1,117,000円	42,000円×26カ所、25,000円×1カ所
4年度	28カ所	1,144,500円	42,000円×27カ所、10,500円×1カ所

(6) 「社協たかさき」の発行

地域住民に広く事業の周知及び社会福祉に対する啓発を行い、本会と地域住民が連携を密にして社会福祉の向上を図ることを目的に広報を発行した。

発行状況

項 目	回数	発行日及び部数
発 行 回 数	4回	8月 1日号 (第92号) 164,400部
		10月 1日号 (第93号) 164,400部
		12月15日号 (第94号) 164,400部
		3月15日号 (第95号) 164,400部

(7) 福祉バスの運行

「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒レベル1の状況において、地区社会福祉協議会や登録のボランティア団体が研修会等でバスを使用し、社会福祉の増進に寄与することを目的に本所、群馬支所で福祉バスを運行した。

団体利用状況

区 分		市社協	地区社協	ボランティア 団体	合計
本所	回数	1回	12回	1回	14回
	人員	23人	204人	18人	245人
群馬	回数	0回	3回	1回	4回
	人員	0人	32人	8人	40人

(8) フードドライブ事業

「もったいないをありがとうへ」をスローガンに企業や法人等に呼びかけ、家庭で余っている食品を募り、食料の確保が困難な団体や子ども食堂、生活困窮者支援を行う団体に寄附を行った。

ア 第36回高崎ふれあいの広場での実施

- ・日 時 令和4年10月29日（土）
- ・場 所 もてなし広場
- ・内 容 ブースを設けて食品を受け入れるとともに事業の周知を図った。
- ・寄 附 数 1,759点

イ 社協窓口受付及び配布状況

- ・寄附数 14,353点（154件）の食料品を受入れた。
- ・生活困窮者支援団体や子ども食堂9団体に配布を行った。

(9) 法外援護

無銭旅行者援護費の貸与や、罹災した世帯へ火災の見舞金として支給を行った。

法外援護支給状況

区 分		支給件数	返済件数
無銭旅行者 援護費	本 所	9件	0件
	新 町	0件	0件
	吉 井	1件	0件
	計	10件	0件
罹災援護	全 域	10件	—

(10) 子育て支援事業(箕郷)

0歳から3歳の未就園児をもつ親子を対象に、毎月第1・3火曜日に親子ふれあいサークルを行った。子育ての経験を持つボランティアが育児相談などを受れたり、保護者同士の交流の場、情報交換の場にもなっている。

ア 親子ふれあいサークル

- ・開催回数 21回
- ・参加延人数 48組（103人）
- ・ボランティア延人数 81人
- ・内 容 ベビービクス&キッズビクス、写真撮影会、おもちゃ遊び、身長・体重計測 他

イ 子育てお役立ち講座

- ・日 時 11月30日（水）、12月7日（水）の2日間
両日とも 10時00分～11時30分
- ・内 容 1日目 ストレッチ運動
講 師 高崎市社会教育講師 小林 潤子 氏
2日目 食育や腸内環境を整えるポイントについての学習
講 師 栄養管理士 椎名 江里加 氏
- ・参加人数 両日とも 5組10人

(11) 地域の会議への参加

高齢者あんしんセンターが主催する地域の会議や、高崎市が推進する生活支援体制整備事業の第2層協議体会議に担当職員が参加し、住民や関係機関等が行うニーズ把握や支え合いの仕組みづくりに協力した。

参加状況

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
3年度	54回	4回	5回	4回	2回	2回	3回	74回
4年度	238回	11回	11回	18回	19回	13回	14回	324回

(12) 受託事業

ア 第45回たかさき市民福祉大会（高崎市と共催）

市民が共に支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的として、式典と講演を実施した。

なお、式典では永年、福祉分野におけるボランティアとして貢献された方々や社会福祉事業に多額の金品をご寄附いただいた方への表彰及び地域の福祉増進に努められた団体に感謝状を贈呈した。

- ㊦ 実施日 令和5年2月11日（土）
- ㊧ 会場 高崎市文化会館
- ㊨ 内容 第1部 【式典】 高崎市福祉ボランティア顕彰
高崎市社会福祉協議会会長表彰・感謝
第2部 【講演】 演題 全盲の僕が弁護士になった理由
講師 弁護士 大胡田 誠 氏
- ㊩ 受賞者数 高崎市福祉ボランティア顕彰 個人 8人、団体 4団体
高崎市社会福祉協議会会長表彰 個人 1人、団体 4団体
同 上 会長感謝 団体 2団体
- ㊪ 参加者 一般市民、地区社協関係者、民生委員児童委員、ボランティア等

イ 吉井東学童クラブの経営（吉井）

保護者が仕事等により昼間留守になる家庭の児童を対象として、遊びや生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用延人数
3年度	238日	25人	4,007人
4年度	252日	22人	3,289人

ウ 子育てSOSサービス事業

高崎市から受託した「高崎市子育てSOSサービス事業」として、妊娠期から就学前児童の保護者の精神的・身体的負担の軽減のため、要請に基づいてヘルパーを派遣し、育児・家事等の必要なサービスを行った。

利用状況

	利用者世帯	年間利用延人数
3年度	264	2,618人
4年度	279	2,420人

エ 女性元気サポート事業

コロナ禍で生活や仕事、子育て、介護、DV被害などの悩みや不安を抱える女性を支援するため、関係団体と協働し、相談窓口の開設や生理用品の配布、居場所の提供を行った。

相談等状況

	相談受付件数	同行支援件数	生理用品 配布件数	居場所 開催回数	居場所 参加人数
3年度	163	7	364	13	27
4年度	243	9	383	12	88

※ 令和3年7月30日より事業開始。

(13) 福祉ボランティアの町づくり事業

市民がともに手を取り合い心のふれあいまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを運営し、各種ボランティア講座の開催や啓発行事の実施、情報提供、ボランティアコーディネートをを行いボランティア活動の活性化を図った。

ア 主催行事等

期日	行事名	内容	会場	参加者
10月29日	第36回高崎ふれあいの広場	地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体、各種団体、行政等が一堂に会し、心ふれあう町づくりを推進するために広場を催した。	もてなし広場	3,000人
10月21日 10月28日	シニア傾聴ボランティア養成講座	相手の立場になって話を聴く「傾聴」について、講義やロールプレイを通して活動に必要な知識、技術を学んだ。	市総合福祉センター	29人
1月17日	シニア傾聴ボランティアスキルアップ講座	講義、事例検討、ロールプレイ等を通して、傾聴の更なる技術の向上を目指し、今後の傾聴活動に活かせる知識・技術を学んだ。	市総合福祉センター	21人

イ ボランティア相談・コーディネート

ボランティアセンターに寄せられた相談に対応し、助言や情報提供を行った。
また、ボランティアを必要とする団体や施設からのニーズを受け、ホームページへの掲載やコーディネートを行った。

	3年度	4年度
相談件数	504件	550件
ニーズ受付数	40件	38件

ウ ボランティアグループ登録状況

市内で活動するボランティアグループの登録を受け、活動状況を把握した。

	3年度	4年度
グループ数	125団体	138団体
人数	5,268人	5,249人

エ ボランティアグループ活動補助金の交付

社会福祉活動の増進を目的として市内で活動するボランティアグループに対して、活動費の一部を補助した。

	補助団体数	金額
3年度	51団体	949,350円
4年度	51団体	974,300円

オ 車いす等対応車両貸出サービス事業

高齢者や障害者の通院、通所、買物などの日常生活や、家族旅行や冠婚葬祭などの外出を支援するため、車いす等対応車両の貸出サービスを実施した。

貸出件数

	本所	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
3年度	70件	79件	48件	32件	32件	33件	294件
4年度	100件	85件	63件	34件	33件	65件	380件

カ 福祉用具貸出事業（車いすの貸出）

一時的に車いすが必要な方に対して、車いすの貸出を行った。

車いす貸出申請件数(団体貸与含む)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
3年度	152件	3件	28件	31件	13件	29件	27件	283件
4年度	205件	2件	27件	67件	19件	30件	43件	393件

キ 福祉教育の推進

福祉教育を推進する中で、幼少期や児童期に福祉への理解と関心を高めることが期待されている。依頼のあった学校等に、福祉用具の貸出や職員が出向いての体験実施の協力を行った。

(単位:回)

区分	貸出講師派遣数	内 容
本所	小学校 19	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出 車いす体験・介助指導、高齢者疑似体験指導・ブラインドウォーク体験、福祉講話、赤い羽根教室協力
	高等学校 1	
	大学 1	
箕郷	小学校 3	高齢者疑似体験、車いす体験、ブラインドウォーク体験
群馬	小学校 3	車いす貸出、高齢者疑似体験指導、車いす体験学習
新町	小学校 2	新町長寿センター施設見学、高齢者疑似体験、車いす体験、ブラインドウォーク体験
榛名	小学校 5	車いす体験学習、ブラインドウォーク・ガイドウォーク体験学習、高齢者疑似体験
吉井	小学校 2	車いす体験学習、車いす貸出、点字練習機貸出、高齢者疑似体験用具貸出
	専門学校 1	

ク 社会福祉協力校事業

児童・生徒がボランティア活動の体験をとおして社会福祉の理解と関心を深め、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、県社会福祉協議会が「社会福祉協力校」や「地域指定福祉協力校」を指定している。指定を受けた学校の福祉教育活動が円滑に実施されるよう調整及び協力・支援を行った。

学校名	指定期間	内 容
高崎市立中尾中学校	令和4年度	募金への協力、福祉協力校助成事業への協力

ケ 買物困難者等への支援

⑦ 高齢者等買物代行事業

日常的な買物に困難を抱えている高齢者等を対象に、登録ボランティアによる日常生活用品の買物を代行する高齢者等買物代行事業を実施した。

利用者それぞれの状況に合わせてボランティアとのマッチングを行い、週に1回から月に1回の頻度で買物代行を実施した。

利用者と定期的に顔を合わせるボランティアならではの気づきが安否確認をはじめ、その他の生活課題の把握へつながり、その後も行政や高齢者あんしんセンター等と協力、連携しながら他のサービスに繋げていくなどの支援を行った。

実施状況

項目	3年度	4年度
登録ボランティア数	233人(男性49人、女性184人)	195人(男性42人、女性153人)
利用者登録数	151人	174人
延べボランティア稼働数	622人	547人
延べ利用者数	789人	718人
延べ代行稼働件数	2,906件	2,612件

① 倉渕地域高齢者買い物支援事業

倉渕地域内の買い物等弱者対策のため、交通空白地有償運送の制度により自宅から倉渕地域内の商店や金融機関、医療機関等まで、有償運転ボランティアが送迎するサービスを行った。

- ・運行日時及び運行地域 毎週月～金曜日 9:00～17:00(倉渕全域)

実施状況

項目	3年度	4年度
運転ボランティア	7人	7人
利用登録者数	77人	83人
運行回数	399回	484回
延べ利用者数	507人	707人

コ 傾聴ボランティア派遣事業

日頃から人と接する機会の少ない高齢者に対し、話し相手をしながら時間を共有することで、より充実した日常生活を過ごせるよう支援するため、傾聴ボランティアを派遣した。

実施状況

	地域	合計
3年度	利用者実数	18人
	訪問回数	117回
4年度	利用者実数	23人
	訪問回数	155回

※ 傾聴ボランティア登録者数 110人

サ 各種保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任を補償するボランティア活動保険や行事用保険等への加入を促進するとともに、事故対応等の事務手続きを行った。

	ボランティア活動保険	行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス	サロン保険	事故取扱
3年度	5,551人	73件	12件	2件	241件	8件
4年度	6,308人	62件	15件	2件	337件	7件

シ 収集物の受入れ

学校や企業、団体等から寄せられたエコキャップ等の収集物を受入れ、有効に活用した。

品目	数量等	活用内容
エコキャップ	687kg	回収業者を通じて換金され、世界の子どもにワクチンを送る運動に協力
使用済み切手	段ボール箱 2箱	県内の障害者福祉施設に送り、利用者の余暇活動の制作材料として活用
アルミ缶プルタブ	120kg	換金し、本会の車いす貸出事業用の車いす購入費用として積立

ス 災害時に向けた取組み

高崎市内における災害発生時に本会が災害ボランティアセンターを設置、運営することに関して協定締結を行った。

- ・災害時におけるボランティアセンター設置、運営に関する協定の締結 高崎市

(14) 生活福祉資金貸付事業

ア 生活福祉資金

関係機関と協力し、援助が必要な低所得者世帯等に資金の貸付や相談支援を行った。また、生活困窮者自立相談支援事業における支援調整会議は書面にて開催された。なお、市において、生活保護申請者で緊急的に一時的な生活費を必要とする方に貸付を行う、つなぎ資金貸付事業では、市に原資を預けている。

- ・償還戸別訪問件数 64件 ※令和4度より訪問活動が再開
- ・支援調整会議出席回数 12回

生活福祉資金貸付件数と金額（特例貸付を除く）

	貸 付	
	件数	金 額
3年度	38件	23,664,000円
4年度	41件	47,450,000円

- ・つなぎ資金貸付件数 7件（貸付金額51,000円）

イ 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、休業等により収入の減少があり、一時的な資金が必要な世帯や生活の立て直しのための資金が必要な世帯に貸付を行った。

資金別申請件数と申請金額

名称	申請件数	申請金額
緊急小口資金	364件	69,180,000円
総合支援資金	345件	180,500,000円
合 計	709件	249,680,000円

※ 9月末で終了

(15) 日常生活自立支援事業

高崎市に在住する認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な人を対象に、契約に基づき日常的な金銭管理の援助や通帳・印鑑の預かり等を適切に行った。

ア 相談件数

	3年度	4年度
認知症高齢者	2,584件	3,028件
精神障害者	3,713件	2,802件
知的障害者	769件	815件
その他	1件	82件
合計	7,067件	6,727件

イ 契約状況及び課税状況の内訳

	年度別契約締結件数		実利用者件数(3月末現在)	
	3年度	4年度	3年度	4年度
認知症高齢者	21件	29件	67件	76件
精神障害者	14件	17件	40件	50件
知的障害者	5件	4件	28件	27件
合計	40件	50件	135件	153件
課税世帯	0件	2件	9件	9件
非課税世帯	24件	26件	58件	70件
生活保護世帯	16件	22件	68件	74件
合計	40件	50件	135件	153件

ウ 生活支援員登録者数 37人(任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日)

エ 生活支援員雇用者数 31人

(16) 介護保険居宅介護支援事業・介護予防支援事業

ア 介護や支援を必要としている高齢者が、心身の状況や置かれている環境、希望に応じて、適切な介護サービスが利用できるように、介護計画の作成や必要な関係機関との連絡調整を行った。また、市内居住者の介護保険の認定調査を行った。なお、令和4年度より北部居宅介護支援センターを中央居宅介護支援センターに統合し、拠点機能の集約を図った。

事業所別実施状況

		中央居宅介護支援センター		北部居宅介護支援センター	
		3年度	4年度	3年度	4年度
居宅介護支援		1,665件	2,563件	1,171件	中央に統合
受託	介護予防プラン	255件	291件	126件	
	介護予防ケアマネジメント	142件	235件	75件	
	要介護認定訪問調査	56件	78件	5件	

イ 高齢者が自立した生活ができるよう、要支援1・2と認定された人やサービス事業対象者への計画書を作成した。

プラン等作成状況

サービス種類	項目	区分	3年度	4年度
介護予防支援	予防プラン作成数	直営	91件	149件
		委託	1,246件	1,257件
介護予防ケアマネジメント	総合事業プラン等作成数	直営	132件	141件
		委託	1,207件	1,175件

(17) 介護保険等訪問介護事業

ア 介護保険サービス

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター		北部訪問介護センター	
	3年度	4年度	3年度	4年度
訪問介護 ※1	799人	703人	332人	438人
介護予防訪問介護相当※2	452人	473人	393人	372人

※1 対象者は要介護認定者

※2 対象者は要支援認定者及び総合事業対象者

- イ その他サービス
道路運送法の規定に基づき、事業所所有の車両で目的地まで有償で送迎した。

実施状況(延人数)

	北部訪問介護センター(榛名)	
	3年度	4年度
福祉有償運送 ※	64人	38人

※ 対象者は、総合事業対象者、要支援認定者及び要介護認定者

(18) 介護保険等通所介護事業

利用者に食事や入浴等の介護サービスや機能訓練を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	倉渕デイサービスセンター		群馬デイサービスセンター		吉井デイサービスセンター	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
通所介護	188人	139人	205人	236人	300人	292人
介護予防通所介護 ※	181人	149人	117人	103人	78人	69人

※ 介護予防・日常生活支援総合事業の予防通所介護相当サービスが含まれる。対象者は要支援認定者及び総合事業対象者(要介護認定なしで高崎市指定のアセスメントシート2015により審査認定された方)

(19) 障害者総合支援訪問介護事業

ア 障害福祉サービス

日常生活に支障のある障害者(児)の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、自分でできる事はしてもらい、出来ない事を支援することにより、障害の状況や家族の状況等に応じて在宅での生活を援助した。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター		北部訪問介護センター	
	3年度	4年度	3年度	4年度
居宅介護 ※1	416人	338人	120人	105人
同行援護 ※2	60人	45人	-	-

※1 対象者は、身体・精神・知的障害者(児童含む)であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、身体介護・家事援助・通院介助サービス等を行った。

※2 対象者は、視覚障害者であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、一緒に買い物や散歩等を提供。

イ 移動支援事業

指定障害福祉サービス事業所として、高崎市から受託し、市内に居住している障害者及び障害児を対象に高崎市移動支援事業実施要綱に基づいて、外出支援を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター		北部訪問介護センター	
	3年度	4年度	3年度	4年度
移動支援(受託)※	20人	12人	0人	0人

※ 利用者は、主に精神障害者や知的障害者

(20) 障害者総合支援生活介護事業(基準該当生活介護)

障害者総合支援法に基づき、地域で生活介護を受けることが困難な障害者に基準該当生活介護(デイサービス)として、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援及び介護並びに機能訓練等を行った。

・群馬デイサービスセンター 利用者 4人

(21) 高崎市社会就労センターセルフ楽間

ア 就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

- ㊦ 利用定員 20人(在籍数:17人)
- ㊧ 開所日数 243日
- ㊨ 延べ利用人数 3,977人
- ㊩ 就労支援事業内容(2チーム体制で実施)
 - ・組立、分解作業(ダンボール緩衝材、洋菓子用箱、水道メーター等)
 - ・検品作業(カー用品、アウトドア用品等)
 - ・パッケージング作業(カーテン部品、ネジ、アウトドア用品、建材等)
 - ・清掃、除草作業(公園、ソシアス等)
- ㊪ 就労支援事業状況

上記生産活動等により、7,631,569円の売上高を得て、必要経費を控除した6,857,377円を利用者に工賃として支給した。
- ㊫ 利用者家族と連携を図るための家族連絡会は、例年年2回開催であるが、新型コロナウイルス対策のため開催を見送った。
- ㊬ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、納会を開催した。
- ㊭ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(22) 吉井障害者自立支援センター（こはぎ）

ア 就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

- ㉞ 利用定員 20人（在籍数:18人）
- ㉟ 開所日数 243日
- ㊱ 延べ利用人数 3,827人
- ㊲ 就労支援事業内容
 - ・製造、販売作業（花卉の生産販売、花壇管理）
 - ・組立作業（自動車部品、入浴剤袋詰め等）
 - ・清掃作業、除草作業（吉井福祉センター）
- ㊳ 就労支援事業状況
 - 上記生産活動等により9,424,906円の売上高を得て、必要経費を控除し6,058,227円を利用者に工賃として支給した。
- ㊴ 利用者家族と連携を図るため、「家族連絡会議」を2回開催した。参加家族が少ないため令和5年度は1回開催とする。（2月）
- ㊵ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、慰労会を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を予定していたが、コロナ禍のため中止とした。
- ㊶ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

イ 生活介護

常時介護や援助を必要とする障害を有する方に対し、入浴・排泄及び食事時等の介護、創作又は生産活動の機会の提供及びその他必要な支援や訓練を実施し、個別支援計画に沿った生活介護サービスの提供を通じて、利用者の自立支援に努めた。

- ㉞ 利用定員 10人（在籍数:10人）
- ㉟ 開所日数 243日
- ㊱ 延べ利用人数 1,861人
- ㊲ 生活介護事業内容
 - ・食事、排泄時等の個々に必要な介護
 - ・入浴（月・木）、音楽活動（金）、スノーブレン、図書館（月1）、レクリエーション、歩行訓練・外気浴 等
 - ・日常生活・身体機能等の維持向上訓練
 - ・生産活動（組立作業等）、創作活動（マット編み等）
- ㊳ 利用者家族と連携を図るため、「家族連絡会議」を2回開催した。参加家族が少ないため令和5年度は1回開催とする。（2月）
- ㊴ 利用者の教養・娯楽活動の一環として、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を予定していたが、コロナ禍のため中止とした。
- ㊵ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(23) 地域活動支援センター(さくらそう・こぼと)

利用者が生活訓練や作業を通じて社会生活に対応できるよう援助した。

ア 開所日数及び利用者在籍状況

施設名	定員	在籍者数	開所日数	年間利用人数
箕郷福祉作業所	20人	12人	240日	2,623人
群馬福祉作業所	10人	6人	241日	1,102人

イ 作業内容

⑦ 箕郷福祉作業所(さくらそう)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰、張り子検品・シール貼り作業、布団生地分別リサイクル作業、野菜パッケージング作業、箕郷福祉会館清掃、オリジナル製品製作
- ・自立支援 生活訓練、当番活動、みんなの会(年12回)
- ・行事、レクリエーション事業
体操指導(年12回)、音楽指導(月1~2回)、季節行事(七夕、レクリエーション大会、クリスマス会、豆まき、ひな祭り)、お楽しみ会
- ・その他 保護者会(年2回)、運営委員会兼保護者会(年2回)

⑧ 群馬福祉作業所(こぼと)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰・袋詰、オリジナル製品(マット・巾着・雑巾等)製作、群馬福祉会館除草清掃、物品袋入れ、シール貼り作業
- ・行事・レクリエーション事業
花見、七夕、残暑払い、クリスマス会、節分、ひな祭り
- ・その他 家族会(10月)、他障害者事業所の作業見学、個別面談実施(3月)

(24) 児童館事業

児童が健全で安全な遊びを通じて、心身の発達を図り豊かな情操を育むことを目的に運営する。年齢が異なる児童が交流する中、多様な遊びや活動に参加できるよう工夫し、地域での子育ての拠点として活用されている。

今年度も新型コロナウイルス感染症防止対策として換気や消毒、清掃の徹底を図り、来館者が安心、安全に利用ができるよう環境を整え運営を行った。

利用状況

施設名	年度	開催日数(日)	児童(人)	保護者(人)	合計(人)	主な事業内容
倉賀野児童館	3年度	293	4,125	3,164	7,289	おもちゃの日、季節の行事、親子遊び、誕生会、子育て講座、卓球、習字・絵画・工作教室等
	4年度	293	4,076	2,425	6,501	
豊岡児童館	3年度	293	4,990	3,356	8,346	
	4年度	293	5,377	3,390	8,767	
井野児童館	3年度	293	6,075	5,081	11,156	
	4年度	293	7,245	6,207	13,452	
群馬児童館	3年度	293	7,983	6,458	14,441	
	4年度	293	6,529	5,477	12,006	

(25) おもちゃの図書館事業

発達の遅れが心配な子どもたちが、たくさんのおもちゃと豊かな遊びを通じて言語等の発達や社会性が育まれるよう支援した。

ア 開設場所 高崎市総合福祉センター1階

イ 開館日 毎週月曜日～土曜日

ウ 利用状況

	3年度		4年度	
	児童	保護者等	児童	保護者等
利用者人数	584人	575人	519人	473人
開館日数	292日		292日	

※ 令和3年度より開館日を拡充。

(26) 長寿センター事業

60歳以上の市民の健康づくりを推進するとともに、各教養教室開催等により福祉の増進を図った。

利用状況

施設名	年度	開館日数	利用人数	実施事業
群馬長寿センター	3年度	290日	30,265人	各種教養教室 介護予防体操
	4年度	285日	30,410人	
新町長寿センター	3年度	239日	6,187人	介護予防教室等
	4年度	240日	6,811人	
新町鉄南長寿センター	3年度	240日	6,105人	
	4年度	241日	5,323人	

(27) 各団体事務局の運営及び支援

ア 群馬県共同募金会高崎市支会事務局の運営

イ 高崎市民生委員児童委員協議会事務局の運営

ウ 倉渕、箕郷、群馬4地区、新町、榛名及び吉井地区民生委員児童委員協議会の支援

エ 地区社会福祉協議会事務局の運営(倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名、吉井)

オ 高崎市ボランティアグループ連絡協議会事務局の運営

カ 高崎地区更生保護女性会への支援

キ 高崎地区更生保護女性会支部への支援(箕郷、群馬)

ク 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会事務局の運営

ケ 地区長寿会連合会への支援(倉渕、箕郷、新町、榛名、吉井)

コ 箕郷町身体障害者団体及び箕郷地区の各ボランティア団体への支援

サ 高崎市身体障害者団体連合会群馬支部及び群馬地区ボランティアグループ連絡協議会への支援

シ 新町母子寡婦会への支援

ス 榛名地区身体障害者団体、榛名地区ボランティアグループ連絡協議会への支援

セ 吉井町ボランティアの会、吉井町身体障害者連合会及び吉井心身障害児(者)父母の会への支援

(28) 社会福祉関係実習生の受入れ

社会福祉関係の大学や専門学校、看護学校等から実習生を受け入れ、将来の地域福祉を担う学生等に対し、社会福祉協議会の業務について実習指導を行った。

実習受入れ状況

内 容	受入数
社会福祉相談援助実習	2人
児童保育関係実習	5人
生徒職場体験研修（高校生）	3人
産業現場実習	1人
老年看護学実習	87人

3 公益事業

(1) 福祉会館事業（指定管理）

福祉センター2館と福祉会館2館の指定管理を市から受け、施設の有効利用に努めた。

利用状況

施設名	3年度		4年度	
	開館日数	利用者人数	開館日数	利用者人数
倉渕福祉センター	307日	36,599人	311日	40,349人
箕郷福祉会館	293日	1,719人	293日	2,781人
群馬福祉会館	293日	28,487人	293日	36,432人
吉井福祉センター	293日	14,356人	293日	15,347人

(2) 高齢者あんしんセンターの運営（受託事業）

高崎市内にある日常生活圏域46ヶ所のうち、北・東・西地区を担当し、地域住民の保健福祉の向上及び福祉の増進を目的に、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のための支援を包括的に行った。

ア 総合相談支援業務

地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、積極的に地域に出向き、相談を受け、適切な保健・医療・福祉サービス関係機関や制度利用につなげる支援を行った。

項目		3年度	4年度
相談件数合計(延べ)		3,346件	4,429件
相談方法	電話	2,510件	3,291件
	来所	243件	256件
	訪問	543件	806件
	その他	50件	76件
主に認知症に係る相談(延べ)	65歳以上	296人	399人
	65歳未満	15人	4人

イ 権利擁護業務

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状態にある高齢者が、地域において安心して尊厳ある生活を行うことができるように支援した。

延べ件数

項目		3年度	4年度
権利擁護に関する相談		81件	10件
相談内容	成年後見	4件	10件
	措置の支援	3件	0件
	地域福祉権利擁護	32件	0件
	高齢者虐待	31件	0件
	消費者被害	1件	0件
	その他	10件	0件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等多職種の機関が連携をし、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的なケアマネジメントが実現できるように後方支援を行った。

	ケアマネ個別 相談件数	支援事業 (研修会等)実施
3年度	695件	2件
4年度	769件	3件

エ 地域ケア会議の推進

介護支援専門員、地域関係者、介護サービス事業者、保健医療関係者等の他職種が参加し、多角的視点から検討を行い、課題解決に向けて地域ケア会議を開催した。

	地域ケア会議
3年度	2件
4年度	2件

オ 認知症施策の推進

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるように、認知症専門医療機関や介護サービス従事者等、地域において認知症の人を支援する関係機関との連携を図った。また、地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう啓発活動を行った。

	認知症サポーター 養成講座	認知症についての 講話
3年度	2回	5回
4年度	1回	7回

カ 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療に関する相談について、在宅医療・介護連携拠点へ情報を提供し、連携を図る。また、市と協働して在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を推進した。

キ 生活支援サービスの体制整備

第2層協議体(北・東・西地区)では、日常生活圏域等における各地域の支え合いの創出に向けて協議体を設置した。社会資源やニーズに関する情報収集、生活支援の担い手の養成、資源・サービスの開発や関係者のネットワーク化に向けての検討会を月1回の定例会として開催した。

開催状況

開催名	開催日	参加人数
第42回協議体会議	令和4年4月20日	8人
第43回協議体会議	令和4年5月18日	8人
第44回協議体会議	令和4年6月15日	12人
第45回協議体会議	令和4年7月20日	8人
第46回協議体会議	令和4年8月17日	11人
第47回協議体会議	令和4年9月21日	8人
第48回協議体会議	令和4年10月19日	7人
第49回協議体会議	令和4年11月16日	7人
第50回協議体会議	令和4年12月21日	7人
第51回協議体会議	令和5年1月18日	8人
第52回協議体会議	令和5年2月15日	7人
第53回協議体会議	令和5年3月15日	10人

ク 一般介護予防事業

筋力体操やストレッチ等の介護予防に取り組むことによって、自立の促進を図り、社会参加意欲を高めた。

	事業名	開催数	延べ参加人数	備考
3年度	元気はつらつ教室	7回	58人	コロナ感染症のため
4年度	元気はつらつ教室	26回	286人	2か所にて開催

ケ 地域が実施する活動への支援

サロン等の充実に向けて支援する中で、介護予防の普及啓発を行った。

	地区サロン
3年度	22回
4年度	51回

コ 地域の関係機関との連携

地域関係者や介護サービス事業者、保健医療関係者等との連携を図り、地域の高齢者の見守りや支援についての情報交換や高齢者本人の課題解決について話し合いを行った。

	地域連携会議	運営推進会議
3年度	3回	0回
4年度	5回	0回

※ 運営推進会議は、新型コロナの影響により各事業所開催を中止。

サ 在宅福祉サービスに関する業務

高齢者が介護保険外の高齢者在宅サービスを適切に利用できるように支援した。

項 目	3年度	4年度
高齢福祉サービス申請手続き代行	97件	124件

(3) 法人後見事業

日常生活自立支援事業の利用者などが、判断能力が低下した後にも引き続き住み慣れた地域で安心して生活できるよう法人後見の受任を行った。

受任件数 1件（類型：後見）

4 収益事業

財源確保のため収益事業を行い、健全な経営と利益の効率化に努めた。

種 別	場 所	従業員数	備 考
売 店 経 営	斎場会館	3人	通年(友引の日以外)
	倉渕福祉センター	2人(兼務)	通年
自動販売機設置	2ヶ所2台	-	通年 中央公民館 1台 染料植物園 1台
土地建物賃貸	片岡町3丁目	-	障害者グループホーム用の土地・建物をNPO法人に賃貸

※ 斎場会館売店は令和5年3月で終了。